

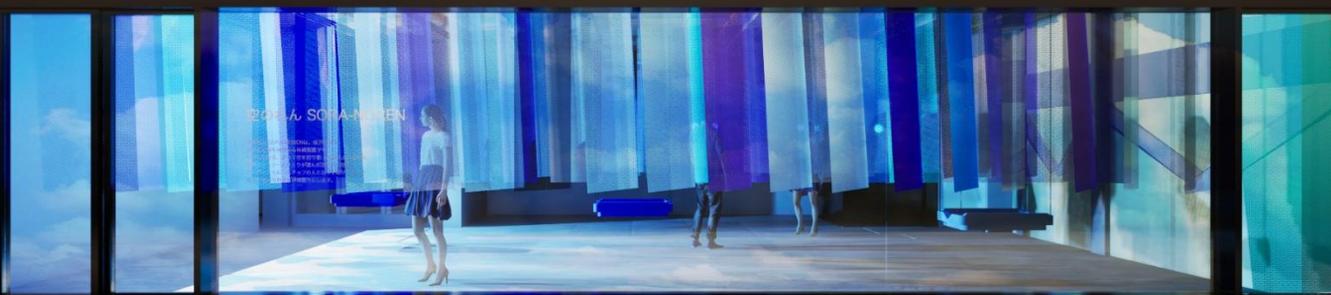
2026年3月13日

空港スタッフ100人と創る体感型アートで旅客をお出迎え

3月23日(月)からアート作品「空のれん/SORA-NOREN」を展示

成田国際空港株式会社は、旅客体験価値の向上に向けて、アートを活用した「成田ならではの」記憶に残る旅客体験づくりを目指しています。この度、成田空港を支える多種多様な空港スタッフ100人の想いや個性をかたちにしたアート作品「空のれん/SORA-NOREN」を成田空港内に展示します。

空のれん/SORA-NOREN



日本の伝統的なのれんをモチーフに、内と外、出発と到着といった境界に立つ空港の特性を表現した体感型アート。空を切り取ったような色彩は、空港で生まれた様々な記憶や想いを映し出し、旅の始まりと終わりに、人の温もりを感じるひとときを生み出す。

※作品写真はイメージです。

<制作背景>

航空会社やグランドハンドリング、保安検査、清掃など、多様な業種の空港スタッフ100人が参加したアートワークショップを通じて制作されました。ワークショップでは、参加者一人ひとりが思い出の「空色」を共有し合い、業種を超えたつながりが生まれました。本作品は、その空港スタッフ100人100色の空色から構成されています。

展示期間：2026年3月23日(月)～5月10日(日)

展示場所：第1ターミナル南ウイング 4階出発ロビーエリア

